

小・中学校の
保護者の皆様へ



宮崎県警察本部
少年課からのお願い

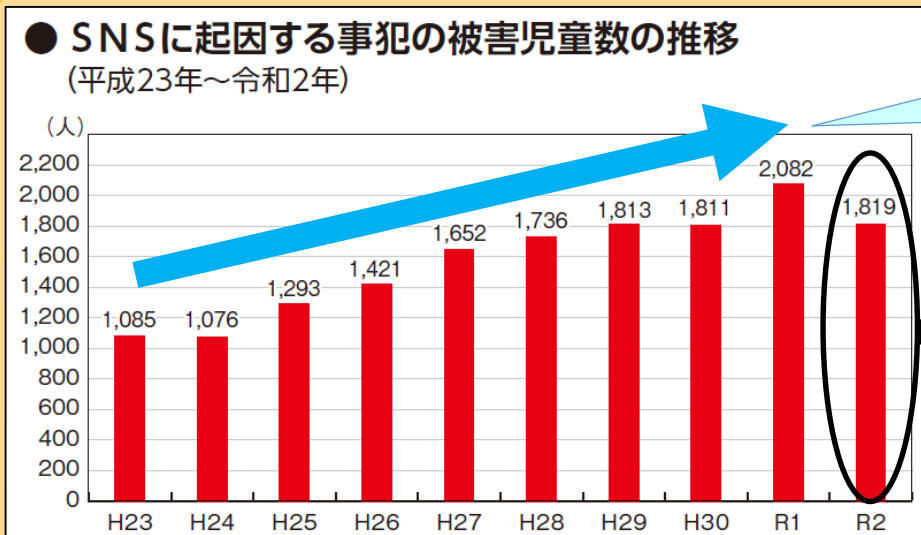
かけがえのない大切な子供たちの
「命・人権・可能性」を力を合わせて守りましょう！

～我が子を「インターネット・SNS利用に起因する犯罪」の被害・加害者にしないために～

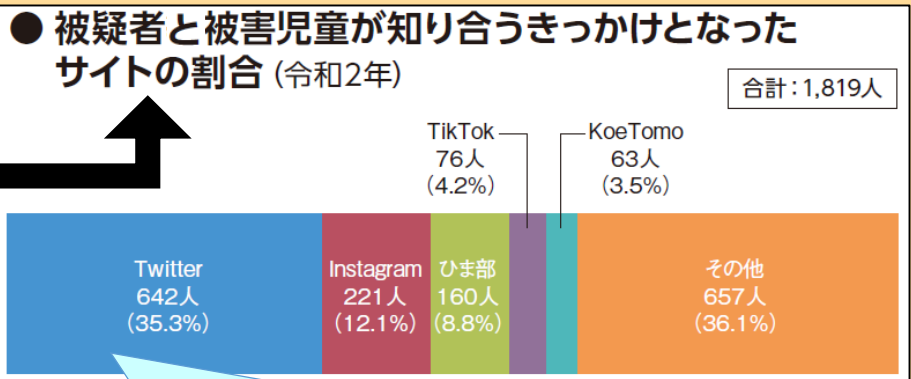


① 今、何が起きているの？

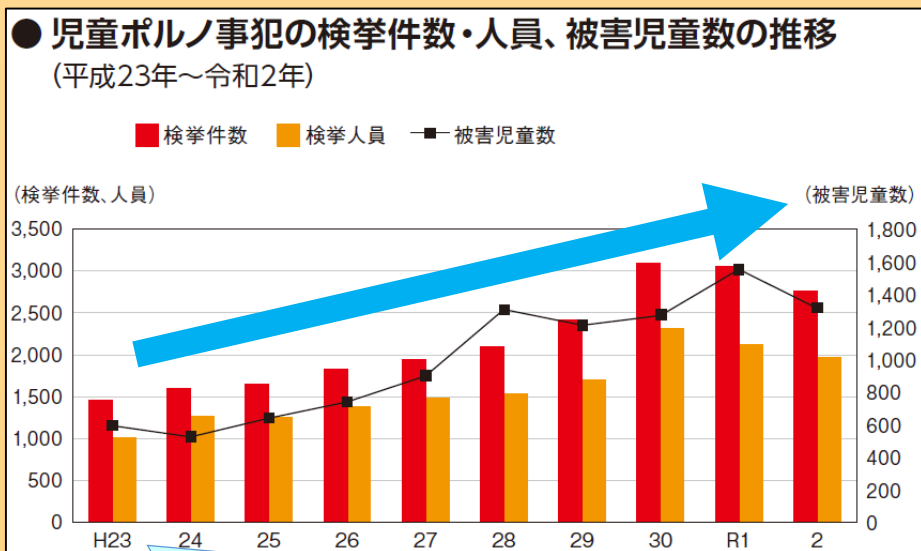
※ 数値は、全国のデータ(令和2年まで)
※ “児童”:18歳未満の者を指す



○ SNSをきっかけとして性被害にあった児童数は、増加傾向です。この10年で2倍近くに増えています。

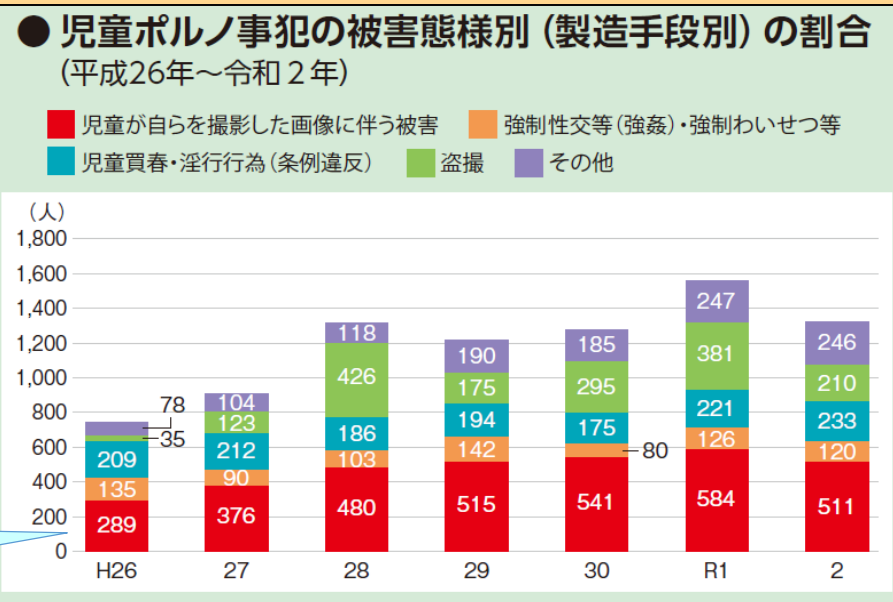


○ よく使われているSNSを通じて被疑者と被害児童が接触していることがわかります。



○ 児童ポルノに関する検挙件数等もこの10年で2倍近くに増えています。

○ 「児童が自らを撮影した画像に伴う被害」の割合が最も高く、その数も増加しています。



※ 『少年からのシグナル(令和3年 警察庁)』より

“よく使われているSNS” を通じて被害にあっている

“自画撮り”画像の送信による被害が増えている

スマホを使用する児童なら・・・
誰もが性被害にあう
危険性がある

② どのような形で被害にあっているの？

～このような被害が全国・県内で実際に起きています～

○A子(6歳)は・・・

オンラインゲームで知り合った男に自らの裸の写真を自分で撮らせられ、その写真をSNSで送信させられた。

○B子(12歳)は・・・

SNSで知り合った男から言葉巧みに誘い出され、わいせつな行為をされ、その様子を撮影された。その後、男はその動画を販売した。

○C子(17歳)は・・・

出会い系アプリで知り合った男にわいせつな行為をされ、その後、C子が関係を絶とうとしたところ、男に「学校に連絡する」などと脅された。

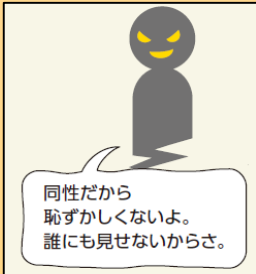
○児童が「性的な写真を要求」したり、「脅迫」したりして、“加害者”になるケースも増えています。

○D子(14歳)は・・・

男がSNS上に掲載した嘘のアルバイト情報を信じ込み、男と連絡を取り、会ったところ、男からわいせつな行為をされた。

○E子(15歳)は・・・

SNSで芸能事務所マネージャーと偽る男と接触し、男に「芸能界で仕事をするために必要なこと」などとだまされ、わいせつな行為をされた。



『少年からのシグナル(令和3年 警察庁)』より

※女性だけではなく、男性も同様の被害にあっています※

きっかけが“SNS、オンラインゲーム”等

面識のない人物に直接会って(連絡をとって)いる

○小中高生の多感な時期の心のスキについて……
○小中高生の成長過程の判断力のスキについて…
○保護者や第三者の目が届きにくいネット上で…
子供だけで身を守るのは難しい!!

③ じゃあ、どうすれば子供を守れるの？

◎残念ながら、「こうすれば絶対に被害にあわない!」という方法は、存在しません。

◎しかし、親子で一緒に以下のような取組を行えば、犯罪の被害・加害者になる危険性を低くできるはずです。

“フィルタリング”(有害なサイト・情報にアクセスできない機能)をスマートフォン等に導入しましょう!!

- 「SNSに起因する事犯の被害児童」のうち、88.5%が被害時にフィルタリングを使用していませんでした。
- 本年度県内の保護者に実施したアンケート(抽出調査)でも、フィルタリング導入率は約52%でした。

親子で一緒に“これだけは絶対に守る家庭内ルール”をつくり、定期的に確認していきましょう!!

○“ルールを守ることは、自分を守ること”という親子共通の認識のもと、以下のようなルールを作ってみましょう。

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 利用時間や利用料金を決める。 | <input type="checkbox"/> 接続するサイトやダウンロードするアプリは保護者に事前に確認する。 |
| <input type="checkbox"/> 氏名等の情報や写真など個人を特定される情報を書き込まない。 | <input type="checkbox"/> 保護者や他人のID・パスワードを勝手に使わない。 |
| <input type="checkbox"/> 知らない人と電話やメールの交換をしたり、会ったりしない。 | <input type="checkbox"/> 下着姿や裸の写真は撮らない、撮らせない(送信しない、させない)。 |
| <input type="checkbox"/> 困ったことがあれば、必ずすぐに保護者に相談する。 | <input type="checkbox"/> 「家庭内ルール」を守れなかった時のルールを決める。 |

親子で一緒に“SNSのリスク(危険性)について考える機会”をつくりましょう!!

- SNSの楽しさだけでなく、危険性も忘れないための機会をつくるようにしましょう。
 - 「警察庁」や「警察協会」が作成している動画コンテンツ等の各種資料を御活用ください。
- ※右の二次元コードは、「健全育成ハンドブック」です。ぜひ御一読ください。

